

事務事業名	道路安全確保維持修繕事業	所属部	建設部	所属課	業務管理課	
総合計画体系	政策名	(Ⅱ)環境に配慮した安全・快適な生活環境づくり<<定住環境>>	所属G	維持管理G	課長名	菅田 雅人
	施策名	(07)道路網の整備	担当者名	佐藤 保興	電話番号	0854-40-1061
	目的	对生活道路(市道・一般県道)の利用者 市内を安全で迅速に移動できるようにする。	予算科目	会計 014002	(内線)	3732
	目的	对生活道路 意図 適正に維持管理する。	大事業名	道路施設管理事業	中事業名	道路安全確保維持修繕事業

1 現状把握【DO】

(1) 事業概要

① 事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (25年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～年度)
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)	<p>・道路維持管理計画に基づく、修繕箇所を毎年度ローリングによる評価で優先度を決定。</p> <p>・優先度の高いものから当該年度修繕工事箇所を選定し、修繕を行う。</p> <p>・工事完了後、修繕箇所のローリングによる再評価を行う。</p>

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動	25年度実績(25年度に行った主な活動) ①道路維持管理計画による優先度評価 ②当該年度修繕工事箇所の選定 ③積算、工事発注 ④工事検査 ⑤道路維持管理計画に基づく再評価	26年度計画(26年度に計画する主な活動) 【点検等】 ①道路ストック点検等業務委託 ②点検結果に基づき道路維持管理計画修繕箇所の再設定 【工事】 ①道路維持管理計画による優先度評価 ②当該年度修繕工事箇所の選定 ③積算、工事発注 ④工事検査 ⑤道路維持管理計画に基づく再評価																												
	② 活動指標	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>23年度(実績)</th> <th>24年度(実績)</th> <th>25年度(実績)</th> <th>26年度(計画)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 契約件数</td> <td>件</td> <td></td> <td></td> <td>8</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>イ 修繕箇所(工区)数</td> <td>箇所</td> <td></td> <td></td> <td>18</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>エ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(計画)	ア 契約件数	件			8	7	イ 修繕箇所(工区)数	箇所			18	10	ウ						エ				
	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(計画)																										
ア 契約件数	件			8	7																										
イ 修繕箇所(工区)数	箇所			18	10																										
ウ																															
エ																															

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	①生活道路の利用者 ②修繕が必要な生活道路等	③ 対象指標	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(計画)
	② 意図(対象がどのような状態になるのか)	①市内を安全で迅速に移動できるようにする。 ②修繕(補修)等を実施する。	ア 人口【国勢調査(推計)】	人			40,055	39,949
			イ 市道延長	km			1,157	1,159
			ウ					
④ 成果指標	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(計画)			
ア 生活道路が安全で便利だと感じている市民の割合	%			55.4	60.0			
イ 生活道路で危ない場所があると感じている市民の割合	%			72.9	73.0			
ウ								

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (25年度決算)	② コストの推移	単位	23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(決算)	26年度(計画)	
【工事請負費】 ①水原線(加茂町)擁壁修繕 1,313,550円 ②梅木曾木線(吉田町)舗装修繕 4,029,900円 ③山王寺線他(大東町)舗装修繕 5,410,650円 ④中村家路線(加茂町)舗装修繕 4,299,750円 ⑤小南線(木次町)法面修繕 6,539,400円 ⑥松笠穴見線(掛合町)法面修繕 4,897,200円 ⑦鳥目線(三刀屋町)法面修繕 9,079,350円 ⑧通学路(市内)区画線等修繕 4,429,950円	事業費内訳	国庫支出金	千円			20,020	
		県支出金	千円				
		地方債	千円				
		その他	千円				
		一般財源	千円			40,000	32,780
		事業費計(A)	千円			40,000	52,800
		正規職員従事人数	人			3	
		延べ業務時間	時間			120	
		人件費計(B)	千円			467	
		トータルコスト(A)+(B)	千円			40,467	

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
・平成24年度に道路維持管理計画を策定し、平成25年度より一般財源により本事業を実施することとなった。 ・平成26年度からは、防災・安全交付金を活用し、道路ストック点検を実施する。	・一般財源のみで開始した事業であるが、平成26年度より道路ストック点検等を行うことで、より適正な優先度判定や特定財源の確保に努める。	・市民から修繕要望がある。 ・市民から修繕実施についての喜びの声がある。 ・担当者から事業継続を望まれている。 ・議会から修繕の重要性と、特に、計画的な法面の防草コンクリートの必要性を指摘されている。

事務事業名	道路安全確保維持修繕事業	所属部	建設部	所属課	業務管理課
-------	--------------	-----	-----	-----	-------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性	この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？	見直し余地があるとする理由
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	* 余地がある場合⇒
	② 公共関与の妥当性	なぜこの事業を市が行わなければならないのか？ 税金を投入して達成する目的か？	
B 有効性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	* 余地がある場合⇒
	③ 対象・意図の妥当性	対象を限定・追加する必要はないか？ 意図を限定・拡充する必要はないか？	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	* 余地がある場合⇒
C 効率性	④ 成果の向上余地	成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？	
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	<input type="checkbox"/> 向上余地がない	理由 ・道路パトロールにより修繕箇所を把握し、計画に基づき修繕等を行っているため、成果は既に最大である。 ・平成26年度からは道路ストック点検を行い、優先度評価や特定財源の確保に努めることで、成果の向上が見込まれる。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	理由 ・廃止すれば、道路の安全性が低下する。 ・市民からの修繕要望に応えられなくなる。
D 公平性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？	
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある *ある場合⇒	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない	(具体的な手段や類似事業名) 理由 ・道路維持管理計画で、通常維持である道路維持補修事業と大規模修繕である本事業について整理しており、類似事業の統廃合はない。 ・各総合センターで実施している道路維持補修事業との連携も既に行っている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない		
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地	成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 ・道路維持管理等に必要な経費である。 ・修繕要望箇所は多く、本事業の拡充を望む声もある。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？	理由 ・道路維持管理等に必要な経費である。 ・修繕要望箇所は多く、本事業の拡充を望む声もある。
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由 ・市内全域の道路維持管理を行うものであり公平である。 ・市が行うべき道路維持管理であるため、受益者負担はない。
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)
	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	・本事業は市民、議会及び職員にも事業効果について理解を得られていると考えている。 ・対応できなかった修繕を計画的に行うことができ、道路利用者の安全が確保できる。
	B 有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	
	C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
	D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果																							
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td>●</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> <p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上	●			維持			×	低下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上	●																						
	維持			×																				
	低下		×	×																				
<p>・平成26年度において、道路ストック点検を行うため事業費は増となるが、点検を行い要件が合えば特定財源を確保することもできるため、同一程度の一般財源が確保できれば、道路修繕事業費の増額が見込める。</p>																								